

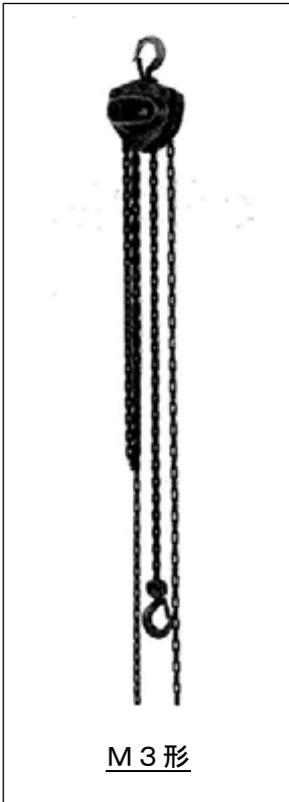
# キトーチェーンブロック

(M3形)

## 取扱説明書

お客様へ

- ・作業者の方は必ずお読みください。
- ・何時でも読めるように保管しておいてください。



キトーは産業界のお役に立つ、荷役機械の提供に取組んで半世紀余、常にお客様の安全を考えた製品造りを基本としております。お客様の正しいご使用と適切な管理によって、さらに一層の安全が保管されます。

安全はキトーの願いです。

# KITO

## 使用目的

このチェンブロックは人間の手引力を使って、通常の作業環境下、荷を垂直に上下移動させる作業を目的に、設計製作されたものです。トロリとの組合わせで、水平方向への移動も可能です。人間の運搬用途として設計製作されたものではありません。

## 安全上のご注意

チェンブロックの使い方を誤ると、つった荷の落下などの危険な状態になります。据え付け、取り付け、運転・操作、保守点検の前に、必ずこの取扱説明書を熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。

この取扱説明書では、注意事項を「危険」、「注意」の2つに区分しています。

### 危険

取り扱いを誤った場合に、危険な状況が起これて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。

### 注意

取り扱いを誤った場合に、危険な状況が起これて、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損傷のみの発生が想定される場合。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

## 安全要約

### 危険

- 取扱説明書及び注意銘板の内容を熟知しない人は運転しないでください。
- 定格荷重を超える荷は、絶対につらないでください。
- つり荷の下や、つり荷の動く範囲に入らないでください。また人の頭上を超えて荷を運搬しないでください。
- 損傷を受けたり、異音がするチェンブロックを使用しないでください。
- ロードチェーンに次の異常があるときは絶対に使用しないでください。
  - ・ねじれ、もつれ、亀裂、かみ合い異常があるもの
  - ・規定より伸び、摩耗が大きいもの
- チェンブロックをモーター等の手引力以外の力で操作しないでください。
- 製品及び付属品の改造は絶対しないでください。
- チェンブロックの分解を行う場合は、必ず製品を床に降ろして行ってください。

## － 目次 －

使用目的	P 1
安全上のご注意	P 1
安全要約	P 1
1. 梱包をあけて	P 3
2. 使用条件	P 3
3. 作業の準備	P 3
4. 使用上の安全注意事項	P 4
4-1 始業前チェック	P 4
4-2 安全操作のための注意	P 5
4-3 作業終了後の注意	P 6
5. オプション仕様	P 6
6. 管理の仕方	P 6
7. 品質保証書	P 7

**注意：この取扱説明書は、事前の予告なく一部内容を変更することがあります。**

## 管理者の皆様へ

この取扱説明書は、実際にチェーンブロックをお使いになる作業の方を対象として、内容をまとめております。定期点検・修理等の管理を担当される方のために別途部品表、点検要領等の資料も準備しております。最寄りのキトーまでお申し付けください。

## 適用法規

手動チェーンブロックのご使用に対し、法規上特段の規制はありません。しかし安全確保のため、「クレーン等安全規制」をご参照のうえ保守管理を実施し、また作業の方に、玉掛け技能や、クレーンの運転の教育を実施されることをお勧めします。

## 1. 梱包をあけて



- ご注文の仕様に間違いはありませんか。
- 外観、内容物等に異常はありませんか。
- ネームプレートを見て書き入れてください。

Model Lot No.	<input type="text" value="—"/>
Serial No.	<input type="text"/>
購入年月日	<input type="text" value=" 年 月 日"/>
販売店名	<input type="text"/>

修理や部品の必要な時、この情報も合わせて連絡してください。

## 2. 使用条件

このチェンブロックは

- (温度)  $-40^{\circ}\text{C} \sim +60^{\circ}\text{C}$ でお使いください。
- (湿度) 100%以下でお使いください。水中での使用はできません。
- (部材) 標準材で構成。スパークレス等の特殊材は使用しておりません。

■その他詳細仕様は、カタログを参照してください。



**注意**

特殊環境下でご使用になられる時には、事前に、キトーまでご相談ください。

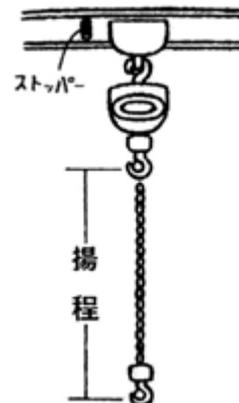
## 3. 作業の準備



**危険**

構造物の強度不足、ストップのつけ忘れはチェンブロック本体の落下事故の原因となります。

- チェンブロック取付場所の強度は十分ですか。
- トロリを連結して使用される場合、トロリの取扱説明書を参照し、組立、レール幅の調整を行ってください。
- 走行レール両端末にストップをしっかりと取付けてください。
- チェンブロックの揚程は作業に十分な長さのものをご使用ください。



## 4. 使用上の安全注意事項

### 4-1 始業前チェック



**危険**

日常点検が安全の第一歩。作業者は、日常点検を実施してから作業を始めてください。

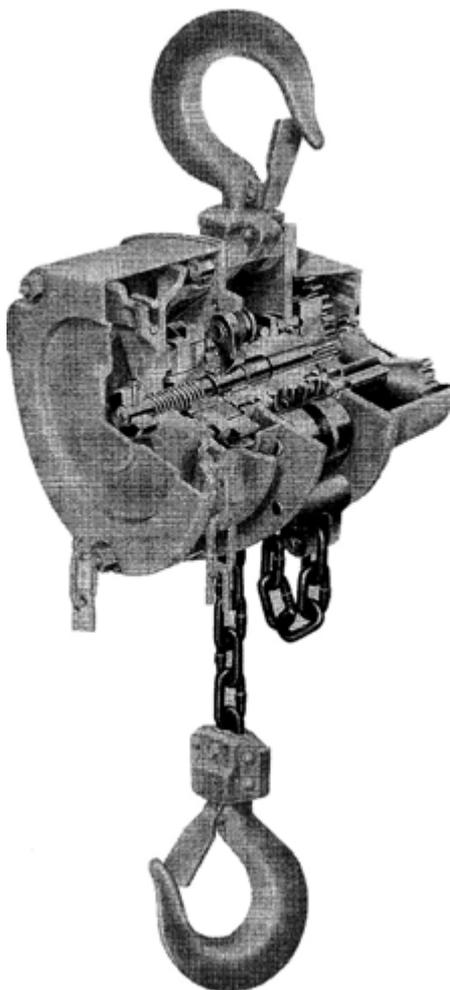
■作業内容を確認、余裕のある定格荷重・揚程のチェーンブロックをお使いください。

(ロードチェーンの継ぎ足しはできません。)

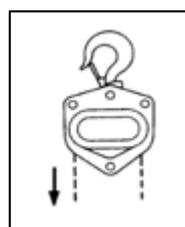
■作業環境を確認、作業の邪魔になるような障害物はあらかじめ整理しておきましょう。

#### —— 日常点検8つのポイント ——

- ① 外観上、傷や破損はないか。  
定格表示がはっきり読めるか。
- ② ロードチェーンに傷やねじれはないか。  
油がついているか。
- ③ 上下フックとフックラッチに変形や傷はないか。  
首部(フック)が軽く回転するか。
- ④ ダブルタイプのシタフックがトンボして、ロードチェーンがねじれていないか。



- ⑤ 巻上げの時、カチカチと音が出るか、異常音はないか。

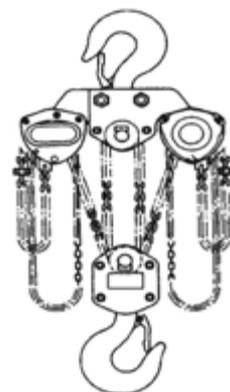


ネームプレート側から見て左のハンドチェーンを引くと巻上げになります。

- ⑥ 操作を止めた時、フックのスベリ落ちはないか。

- ⑦ 20 t以上の場合垂直荷側のロードチェーンのたまりの長さに段差はないか。

\*段差のある時は無負荷で2台の本体を最後まで巻き下ろし操作してください。段差を調整できます。



ラッチロックフック仕様(オプション)

(1/2 t ~ 3 t まで対応)

- ⑧ 警告ラベルが剥がれていないか。



**危険**

何か異常を発見したときは、直ちに使用を中止し、修理するか正常な製品に交換してください。

## 4-2 安全操作のための注意



誤った操作は死亡や重大な傷害事故の原因となります。そうした危険を避けるため……、



■定格荷重を超える荷をつり上げてはいけません。

■人をつり上げたり、人の上で荷を操作してはいけません。

■荷の上に乗って操作してはいけません。

■ロードチェーンが変形したり傷付いているチェーンブロックは使ってはいけません。

■故障したり、修理中のチェーンブロックは使ってはいけません。

■フックの先端で荷重を受けるような操作をしてはいけません。

■フックラッチのとれたフックは使ってはいけません。

■ロードチェーンをつり具代わりに荷に巻き付けて使ってはいけません。

■ロードチェーンを鉄板等の角にあてて操作してはいけません。

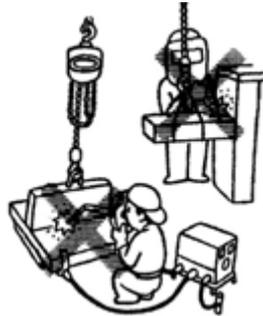
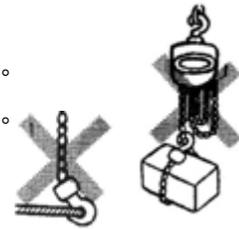
■鉄板等でつった状態で、溶接作業や切断作業をしてはいけません。

■溶接作業中ロードチェーンをアースとして使用してはいけません。

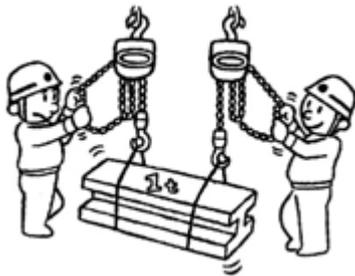
■巻き上げ過ぎ、巻き下ろし過ぎ作業はしてはいけません。

■荷をつった状態で長時間放置してはいけません。

■荷をつった状態でチェーンブロックの分解はしてはいけません。



〈二丁つり作業〉

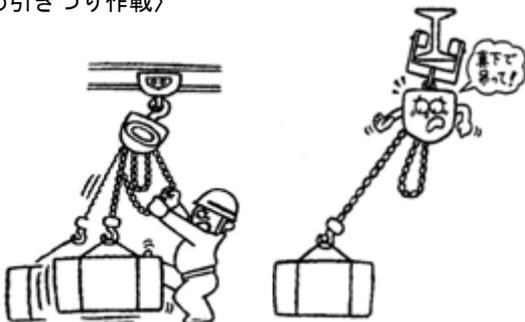


■A・Bそれぞれのチェーンブロックの定格荷重は十分余裕を持って選択してください。

(例えば左図の場合、A・Bともに1tのチェーンブロックをお使いください。)

■A・Bそれぞれのチェーンブロックで水平につり上げるよう操作してください。

〈斜め引きつり作戦〉



■斜め引きは地切りの時、荷が揺れます。十分注意してください。

■トロリ付の場合、斜め引きはトロリに無理な力がかかります。トロリの真下でつってください。

〈20 t 以上大容量〉



■操作は必ず2人で行ってください。

■片側だけで操作せず、両方の本体を同じ量だけ操作してください。

### 4-3 作業終了後の注意

**▲ 注意** あなたの思いやりが次に使われる方の安全を確かなものにします。



- Ⅰ道運ぶする時、引きずったり、放り投げたりしないでください。
- Ⅰ汚れや水滴を拭い、フックの首部やロードチェーンに塗油して屋内に保管してください。
- Ⅰブレーキバンは乾式です。油は付けないでください。
- Ⅰ定期的に点検をしてください。(使用頻度により月次、半年、一年ごと)



**▲ 危険** Ⅰ修理・点検は専任の保守管理者に任せるか、キトーにご相談ください。

Ⅰ修理の必要なチェーンブロックは **点検中** 等の名札を付け、誤って使用されないように区別してください。

Ⅰ修理のため、部品交換が必要な時は、必ず純正部品を使用してください。



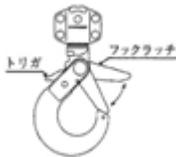
## 5. オプション仕様

お客様の作業環境に合わせた幾つかのオプションを準備しております。一層の安全作業にお役立てください。(マイティーマ3形のみ対応可)

- ⅠCLチェーン……………特殊ニッケル処理した錆に強いロードチェーン
- Ⅰオーバーロードリミッター……………過負荷防止装置
- Ⅰスパークレジスタント……………特殊材料を使用、スパークのでにくい構造
- Ⅰショートヘッドタイプ……………デッドスペースが小さい仕様
- Ⅰラッチロックフック……………シタフックをラッチロックフックタイプに交換し、つり具の

はずれを防止する。(1/2 t ~ 3 t まで対応)

**▲ 注意**



※荷重が掛かるとフックラッチが閉まり、ロック装置(トリガ)が働く。トリガを押さないとフックが開かないため、つり具のはずれを防止し、確実に保持する。

**▲ 注意**

あなたの作業環境にあったチェーンブロックの仕様についてご相談をお受けしております。キトーまでお問合せください。

## 6. 管理の仕方

**▲ 注意**

重い荷を移動する時は常に危険が存在します。誤った操作や、日頃の整備を怠ればなおさらです。正しい操作と正しい管理が安全を守る両輪といえます。正しい管理のポイントは……、

- Ⅰ管理責任者を決める。
- Ⅰ職場に適した作業規準や点検基準を決める。
- Ⅰ教育による作業規準の徹底を図る。

**▲ 注意**

分解組立要領、トラブルシューティング、及び基準作りの参考となる点検要領、等の管理資料も別途準備しております。何なりとキトーまでご相談ください。

## 7. 品質保証書

キトー製品をご購入いただき誠にありがとうございます。弊社では部品一つ一つまで、徹底した品質管理のもとに製品作りをしておりますが、万一不具合が発生した場合は、本保証書に基づき次のとおり保証いたします。

### 1. 保証の範囲

保証期間内において、取扱説明書(オーナーズマニュアル)、本体警告表示などの注意書きに従って使用したにもかかわらず、設計、製造、資材等の原因により故障、破損が生じた場合は、本保証書記載内容に基づき、無償にて修理いたします。

### 2. 保証期間

現品お引渡し日から1年間といたします。

### 3. 保証対象外の事項

保証期間内においても次の事項に該当する場合は保証対象外とし、有償修理となる場合があります。

- (1) 定格以上の荷重で使用されたとき
- (2) 製品仕様を超える環境で使用されたとき  
(ばい煙・薬品・塩害等の外部要因の存在または特殊環境下での使用)
- (3) 使用限度以上の負荷時間率、始動頻度、または時間定格を超える使用をされたとき。  
(電動製品)
- (4) 取扱説明書等に指定する保守点検および使用後の手入れを実施されなかったとき。
- (5) 保守、整備の不備または間違いによる故障
- (6) 製品または付属品を改造したと認められるとき。
- (7) 純正部品及び指定の油脂を使用しなかったとき。
- (8) その他、取扱説明書等の指示に反して使用されたとき。
- (9) 地震、台風、水害等の天災及び事故、火災による損傷
- (10) 使用損耗または経時変化に起因する不具合

※以下の部品は使用損耗部品とし、これらの損耗による故障・破損は本保証の対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

(ロードチェーン、ウエフック、シタフック、油脂類)

なお、本製品の故障による生産ダウン等の2次損害については補償しかねます。

このような事態が予想される場合には、あらかじめ代替機等を準備してください。

### 4. 修理の受け方

修理をお受けになる場合には、製品名称・モデルロット No. ・シリアル No. ・を購入もとまでご連絡ください。

### 5. 保証の適用

この保証書は日本国内においてのみ有効です。

メモ

メモ

メモ

# 本社／サービス

## ■ 本社／Head Office

### 本社工場 Head Office & Factory

〒409-3853 山梨県中巨摩郡昭和町築地新居 2000 《TEL》 055-275-7521 《FAX》 055-275-6162

### 東京本社 Tokyo Head Office

〒163-0809 東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 9 階 《TEL》 03-5908-0159 《FAX》 03-5908-0159

## ■ カスタマーセンター／Customer Center of Japan

Tokyo	東部カスタマーセンター	〒163-0809	東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 9 階
			《TEL》 0120-994-404 《FAX》 0120-994-504
Nagoya	中部カスタマーセンター	〒465-0013	愛知県名古屋市名東区社口 1-1004
			《TEL》 0120-929-965 《FAX》 0120-929-966
Osaka	西部カスタマーセンター	〒570-0003	大阪府守口市大日町 2-10-3
			《TEL》 0120-959-488 《FAX》 0120-959-499

## ■ お客様相談センター／Customer Service Center

受付時間 9:00～17:00 (土・日祝日を除く)

《TEL》 0120-988-558

《FAX》 0120-988-228

《E-mail》 [Callcenter@kito.co.jp](mailto:Callcenter@kito.co.jp)

※この取扱説明書で不明な点があり、詳細な情報をお知りになりたい方は、最寄りの弊社カスタマーセンターまでお問い合わせください。

※この製品は、日本国内用に設計・販売しております。製品の輸出をお考えの場合は、向け先に応じて諸規格、規制があるため、事前に弊社までご相談ください。海外での修理や部品販売などのアフターサービスは対応できませんのでご了承ください。

無段転載・複写禁止

\*この取扱説明書は、事前の予告なく一部内容を変更することがあります。